

## ゆたか小学校 第 1 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 8 年 5 月 2 0 日（水） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0
- 2 場 所 ゆたか小 会議室
- 3 参 加 者 長嶺吉起（会長）・宜保龍平・譜久村さつき・大田昇  
大城あい・渡辺秋子・村社真知子・瀬長里絵・松本靖広  
玉城洋子・城田聡（校長）・棚原綾乃（教頭）・宮城団志（教務）

### 4 会議内容

#### （1）はじめに（学校経営の理念：学校長）

本校は、「社会的自立に向けて」「地域とともにある学校」を目指し、児童一人ひとりが輝く学校づくりを推進していこうと努めている。学校経営の舵取りにおいて、教育活動を学校内だけで完結させるのではなく、家庭・地域・学校が共通の目標を持ち、協働して子どもたちを育てていく。学校長として、まずは「挨拶」いっぱいの学校を目指したいと考えている。

#### （2）コミュニティ・スクールの意義（長嶺会長のお言葉より）

第 1 回学校運営協議会において、長嶺会長より以下の意義が伝えられた。

- 「地域総がかり」の教育：学校の困り感を地域が共有し、解決の一助となることで、子どもたちが地域に守られているという安心感を得ること。
- 信頼関係の醸成：学校と地域が「パートナー」として、子どもの成長を第一に語り合える関係を構築すること。
- つながりの深化：地域住民が学校運営に参画することで、学校が「地域の拠点」としての機能を高めていくこと。PTA との連携も考えていきたい。

#### （3）地域とのつながりを深めるための具体的方策（これから熟議していきたいこと）

地域と学校の協働するため、以下のアイデアが提案された。

これらは今後の具体的な取り組みとして検討していく。

#### ① 登校・朝の時間の活用

- 読み聞かせ・昔遊びの導入：8:00 の開門から始業までの時間を活用し、地域の方々による読み聞かせや、昔遊びの指導を依頼する。朝の落ち着いた雰囲気づくりと、多世代交流を図る。

#### ② 地域人材の掘り起こしと環境整備

- 人材バンクの構築：地域住民が得意とするスキル（掃除、庭の手入れ、技術指導な

ど)を可視化し、学校の環境整備において協力を仰ぐ仕組みづくりを行う。

- 「できることを、できる範囲で」：無理のないボランティア体制を構築し、地域住民が気軽に参加できる雰囲気づくりを目指す。

#### (4) 今後の展望と具体的アクション

今回の協議を通じ、委員間で「ゆたか小の児童のために何ができるか」という共通意識が形成された。

- 第2回協議会以降の進め方:令和8年7月2日(木)10:00~12:00
  - 今回挙げられたアイデアをより具体化する(例:読み聞かせの実施曜日、環境整備の内容の特定)。
  - 具体的なプロジェクトチームの編成、役割分担の明確化。
  - 活動状況を「ゆたか小便り」や「地域コミュニティニュース」等で発信し、より多くの地域住民への周知を図る。

#### 5. おわりに

本協議会を通じて、学校経営に対する地域の皆様の熱い想いに触れることができた。学校運営協議会が単なる報告の場ではなく、未来の教育を共に創り出す「熟議の場」として機能するよう、今後も心理的安全性を担保した、対話を重視した運営を継続していく。

